

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
228	経済学演習 (村上由紀子)	通年	3年以上：4単位	村上 由紀子 政政・経演・国演

副題
Subtitle 労働と勤労者の生活に関する研究

授業概要
Course Description 多くの人は、学校教育を終えたあと、労働力を供給して所得をもらい生活をしている。社会人となったあとも、さらに自分に教育投資をする人もいる。また、社会保障の諸制度は勤労者生活をサポートしている。本演習では、労働を中心として、教育、消費、医療、社会保障などの勤労者の生活に直接関連する課題を取り上げ、それらに関する実態の解明、問題の把握、問題解決のための政策などについて、理論的・実証的に研究する。
本演習は主に二つの部分から構成されている。第一の柱はグループ研究である。今年のグループ研究の共通テーマは「所得格差」であり、3 - 5人から成るグループごとにサブテーマを定めて研究を行う。研究の成果は口頭のプレゼンテーションと論文により発表する。第二の柱は4年次の卒業論文のテーマを決定することである。そのために、労働、教育、消費、医療、社会保障などに関する文献の輪読、ディスカッション、ディベートなどを行う。

授業の到達目標
Objectives グループ研究を行うことを通じて、研究のやり方や発表（口頭、論文）の仕方を修得する。
また、様々な研究課題に触れながら、4年次に個人で取り組む卒業論文の研究課題を見つけ、計画をたてる。

授業計画
Course Schedule 第1回：イントロダクション
第2回 - 第14回：所得格差に関する研究
第15回：グループ研究計画の発表
第16回：教育
第17回：医療
第18回：賃金
第19回：消費
第20回：失業
第21回：社会保障
第22回：ワークライフバランス
第23回：労働移動
第24回：若年者の雇用
第25回：女性労働
第26回：技術革新と雇用
第27回 - 第28回：グループ研究発表
第29回 - 第30回：卒業論文計画発表

教科書
Textbook(s) 授業中に指示する。

参考文献
Reference Book(s) 授業中に指示する。

評価方法 Evaluation	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	20 %	
平常点評価 Class Participation	30 %	
その他 Other	50 %	グループ研究の成果、取組み。

備 考
Note

ゼミへの参加は2012年度開講の労働経済学を履修することを前提とする。

関連URL
URLs for References

<http://www.f.waseda.jp/myukieco/>